

2025年7月1日

第066号

☎180-0006

東京都武蔵野市中町 2-21-15

発行責任者 近藤 和義

TEL. 0422-53-5252

FAX. 0422-52-8100

## 築くのは一生、なくすのは一瞬

理事長 近藤 和義

社会は様々な要因を含みながら毎日動いています。当然世界も同様に動いています。信用は個人同士でも築くのはなかなか大変です。ましてや国同士の信頼、信用を築くのは本当に大変なことです

今年の総会ウォークでは太宰治の墓所を訪ねます。太宰の著書に「走れメロス」があります。死刑を宣告された若者が、決められた時間まで帰ってくると王様と約束し、身代わりの人質に友人を差し出しました。

メロスは戻れば死刑になる。しかし戻らねば友人が自分の代わりに死刑になる。メロスは死刑になるのを覚悟して友情と信頼を貫くために戻ったという内容です。

翻って今世の中はどうでしょうか。世界はトランプ関税で大揺れになってしまいました。これまで培ってきた信用と信頼に基づいた貿易体制は突然崩れ各国が対処を模索しています。アメリカの強大さを再認識させられますが、トランプの手法が正しいかどうかは時間がたたねばわかりません。

わたくしたちの信用はどうでしょうか。金銭面では商品のコンビニ払いから始まって、クレジットカード払い、通販など商品を先に受取り、後支払いのシステムなどすべては支払が完了することによって信用されます。

個人の信用、信頼はどうでしょう。ここのところで農水大臣が「コメは買ったことがない」と発言し更迭されました。これまで順調に進んできた彼は、失言によってせっかく築いてきた信用と信頼を一気になくしてしまいました。

個人の信用や信頼をなくすのは発言と行動の結果です。長い時間をかけて醸成してきた信用も一言の失言で一瞬のうちになくなります。

私も失言をして痛い目にあったこともあります。立場が大臣ではないので報道されることもなく、影響は狭い範囲であったことは幸運でした。

皆様はいかがでしょうか。自らの言葉が相手にどのように受け取られるかはそれぞれですが、人とのつながりを円滑にするためにも行動と発言は気を付けるに越したことはありません。

歩こう会は人の集まりですが、楽しい会話とゆるぎない行動で皆さんとともに幸せに過ごしたいと存じます。

## 例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

## 第195回定例ウォーク

## 築地市場跡から豊洲市場の千客万来

開催日時 2025年7月5日(土) 午前9時集合

集合場所 JR線・東京メトロ 新橋駅 SL 広場

解散場所 ゆりかもめ お台場海浜公園駅 14時頃

歩行距離 約7km

歩行コース 新橋駅(スタート)～環状2号線～築地市場跡～築地大橋～黎明大橋～晴海5丁目ターミナル(WC)～豊洲大橋～豊洲 千客万来(昼食休憩)～富士見橋～シンボル プロムナード公園～夢の大橋(ドリームブリッジ)～シンボル プロムナード公園(おもてなしガーデン)～お台場海浜公園駅(ゴール)

\*今回のウォークは緑豊かな公園が多い臨海副都心です。2024年2月開業の東京の新名所 豊洲場外江戸前市場『豊洲 千客万来』でのランチや 開放的な日本一幅広い歩道橋である『夢の大橋』めぐりを楽しみましょう。

千客万来には1F(コンビニ含む)9店舗、2F 38店舗、3F(フードコート)13店舗があります。特に2Fは江戸時代の市場を再現した「目利き横丁」と「豊洲目抜き大通り」があり、新鮮な海産物や珍味をカウンターで食べることができる こじんまりとした店舗がずらりと並んでいます。ゆりかもめ市場前駅から直結する2Fはいつも混雑しています。



シンボルプロムナード公園にある有明西運河にかかる1996年10月14日に開通した夢の大橋(ドリームブリッジ)。橋長360m、最大幅員約60mの歩行者専用橋で、江戸火消しの纏(まとい)や庭園を照らす灯ろうをイメージしてデザインされた個性的な形の照明が特徴的なこの大橋は、ドラマや映画のロケ現場(踊る大捜査線、ウルトラマンシリーズ、仮面ライダーシリーズ等)にも使

われる素晴らしい景観です。大きな気持ちをもって大手を振って夢の大橋をお渡りください。

スタートは新橋駅。高層ビル群が立ち並ぶ汐留地区を通り、環状2号線へ。更地になった築地市場跡をながめながら、築地大橋を渡り勝どき地区へ。更に黎明大橋を渡り、一旦環状2号線から離れ 晴海5丁目ターミナルで小休憩(WC)。

再び環状2号線に戻り、豊洲大橋を渡ると『豊洲 千客万来』に到着、昼食休憩とします。店舗でのお好みのお食事をどうぞ(昼食持参でも可)。

お昼ご飯堪能後、綺麗に整備された遊歩道を進み、有明スポーツセンター・有明テニスの森公園前からシンボルプロムナード公園へ。しばらく進むと夢の大橋(ドリームブリッジ)です。よく手入れされた花壇「おもてなしガーデン」を眺めながら進むとゴールのお台場海浜公園駅です。

(文：小松 巧)

## 第67回カルチャーウォーク

### 麻布台ヒルズとテレビ朝日夏まつり

開催日時 2025年8月7日(木) 午前9時30分集合  
集合場所 東京メトロ 神谷町駅 5番改札口 駅前広場  
解散場所 東京メトロ 六本木駅  
歩行距離 約5km

歩行コース 神谷町駅5番出口～麻布台ヒルズ地下1階見学～麻布台ヒルズ1階見学～中央広場～森タワープラザ～外苑東通り～六本木5丁目～芋洗い坂～テレビ朝日(六本木ヒルズ納涼会場)～東京メトロ 六本木駅

\*今回のカルチャーウォークは2023年秋にオープンした麻布の新しいランドマーク、麻布台ヒルズを見学後テレビ朝日夏祭り(ピアガーデン)に参加予定です。麻布台ヒルズは、みどりあふれる広大な中央広場を中心に据え、オフィス、ホテル、商業施設、文化施設、インターナショナルスクールなど、多様な都市機能が融合しひとつの街のようになっています。低層部のユニークな建築とランドスケープは、イギリスの建築家、トーマス・ヘザウィック氏によるもの。

「麻布台ヒルズ森 JP タワー」は、東京タワーとほぼ同じ高さの330mで日本一の高さを誇り、33階にあるレストラン「dining33」からは、東京タワーを含めた絶景を一望することができます。2024年2月には、森ビルとアートコレクティブ・チームラボが共同で手がけた、デジタルアートミュージアム「森ビルデジタルアートミュージアム：エプソンチームラボボーダレス」がオープンしとても人気です。今回、暑い時期ですので、涼しい麻布台ヒルズの中を見学し、ご希望の方には、森ビル34階のカフェから東京タワービューを見て頂き、六本木ヒルズテレ朝祭りに向かうコースを考えています。(34階の「スカイルーム カフェ」では、ドリンク購入とチャージ料(500円)のお支払いが必要です。)



(文：橋本 彩子)

## 第68回カルチャーウォーク

### 味覚の秋 稲城市 清玉園の梨狩り

開催日時 2025年9月3日(水) 午前9時30分集合  
集合場所 JR南武線 南多摩駅北口 分量橋公園  
解散場所 JR南武線 稲城長沼駅 13時頃  
歩行距離 約4km

歩行コース 南多摩駅 分量橋公園/スタート～大丸親水公園～大丸地区会館～稲城長沼駅(イオンフードスタイルWC)/～青渭神社(小休憩)～青渭通り～三沢川→水車橋～馬橋～本郷橋～本郷公園(WC)～旧鶴川街道～清玉園で梨狩り～稲城長沼駅前(ペアパーク)/ゴール

\*稲城市は、東京都の多摩地域南部に位置する市で東京都内でも有数の梨の産地で、特に「稲城」という品種は甘くてみずみずしいのが特徴で幻の梨とも呼ばれています。

稲城市の梨の栽培の歴史は江戸時代に山城国〔現在の京都府〕から「淡雪」という梨の苗を持ち帰ったのが始まりとされています。

南武線南多摩駅北口からすぐの、分量橋公園に集合してスタートし、大丸用水路に沿った遊歩道を東方向に進み大丸親水公園をぬけ、更に進み稲城長沼駅ガード下のイオンフードスタイルで小休憩(WC)。青渭通りを進み、青渭神社で小休憩します(トイレなし)。

青渭神社は平安時代中期の延喜式神命帳に記載があるとされる古社で、昔は神社の付近に大きな青い沼があり、その神霊を祀ったことが起源とされていることから、青沼大明神とも言われています。

休憩後、青渭通りを進み稲城市福祉センター前の信号を渡り、三沢川が流れる水車橋、馬橋をぬけ、本郷橋を過ぎて本郷公園で小休憩(WC)後、稲城市役所入口の信号を渡り旧鶴川街道沿いにある清玉園で梨狩りをします。

梨狩りを充分楽しんだ後は、稲城長沼駅前のペアパーク迄進みここで解散となります。

今回、ウォーク途中での昼食休憩はありません。

◎ 今回は、梨園の清玉園の都合により日程の変更があり、9月3日(水)に設定しましたので お間違えの無いようにお願いします。

(文：須藤 昭枝)





## 第2回シリーズウォーク 権現堂桜堤の曼珠沙華

開催日時 2025年9月27日(土) 午前10時集合  
集合場所 東武日光線 幸手駅東口 ファミリーマート前  
解散場所 東武日光線 幸手駅 東口 15時頃  
歩行距離 約8km

歩行コース 幸手駅(スタート)～幸手駅入口～勤労福祉会館(WC)～荒宿～内国府間(うちごうま)～権現堂桜堤～つり橋「外野橋」～「権現堂大噴水」(行幸湖) 食事～峠の茶屋=曼珠沙華鑑賞(自由行動)～JA農産物直売所～内国府間～荒宿～幸手駅入口～幸手駅

\*2025年2回目のシリーズウォークは県営権現堂公園にある権現堂桜堤の曼珠沙華鑑賞です。

権現堂桜堤のある幸手市は、江戸五街道の一つの日光街道第六番目の宿場「幸手宿」であった為、貴重な文化・歴史遺産が沢山あります。

今回向かう県営公園の権現堂桜堤は、延々と続く堤が四季折々の花々に覆われ、地元の人から愛される幸手市の代表的な場所です。権現堂桜堤は昭和初期に廃川となった権現堂川の堤でした。江戸時代にはこの堤が決壊すると江戸にまで洪水が及んだそうです。度重なる水害にもめげず、その都度修復が行われたからこそ、四季を通じて花の色付きを楽しめる素晴らしいお花見の名所になったことを思うと感無量です。

秋の訪れとともに土手一面に咲く曼珠沙華は、市民ボランティアの方たちが大切に育て、現在では、300万本にまで増えたそうです。

緑の中に赤く咲く真っ赤な曼珠沙華は、まさに癒しの空間。広い公園散策



の合間には、オアシスとなっている「峠の茶屋」があり、国産小麦粉を使った手作りパンも人気です。

今回は、権現堂桜堤からつり橋「外野橋」を渡り、行幸湖(みゆきこ)にある権現堂大噴水(スカイウォーター120)が見られる場所で昼食予定です。120年を迎えた埼玉県を象徴するために作られ噴水で噴き上げ高も120フィート(36.6m)と迫力満点。1時間ごとに噴き上げることなので噴水が見られることを祈っています。往復する歩行者・自転車専用のつり橋も高度な技術を必要とするため、国内でも数橋しか架設されていない珍しい橋だそうです。

残暑の残る時期ではありますが、権現堂桜堤の曼珠沙華鑑賞に皆様のご参加をお待ちしています。

(文：橋本 彩子)

## 例会ウォーク実施報告

2025年3月29日(土)

第192回定例ウォーク

国立の大学通りと根川緑道のさくらウォーク

2024年度最後のウォーキングは3月なのに25℃以上の夏日があり、東京の開花宣言も出て絶好のお花見日和になるはずでしたが、前日の天気予報はまさかの急な寒の戻りで気温は10℃以下で風雨共に強くなるとのことでした。

楽しみにしていたお花見なので、天気回復を願い大好きな国立駅南口に向かいました。

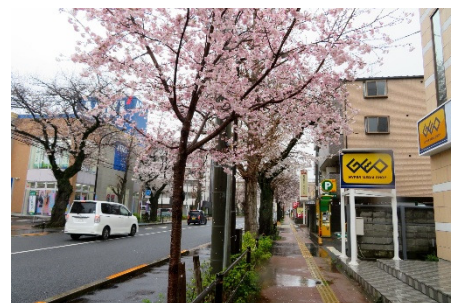
復元された赤い三角屋根に白い壁の駅舎広間で受付させて頂き、思いもよらず会員17人一般3人計20人が集合、レインコートに傘をさして大学通りを南に向かってスタートしました。

5分咲位でしょうか歴史ある国立の桜は高齢なソメイヨシノが多く、くにたち桜守ボランティアの皆さんが根元に四季折々の花を植えて大事に育てて下さり、雨にも負けず風にも負けず元気に咲き誇っていました。

絶景名所の歩道橋に登り前後を一望してさくら通りに入り西に進むと若木ながらも白っぽい幹でピンク色の可憐な花びらのジンダイアケボノに引き寄せられました。数年前に老木化して伐採されたソメイヨシノの後に病気に強く樹齢も長いジンダイアケボノに植え替えられています。栽培新品種の桜で原木は神代植物公園にあります。



お天気は一向に回復せず気温も下がり風邪など体調の安全を考え、矢川上公園で中断して南武線の矢川駅で解散となりました。



矢川緑地保全地区から根川堤緑道も楽しみにしていたので是非リクエストしたい例会です。

お名残惜しく自宅近くの三鷹第2小学校の樹齢130年の桜を見に行きました。立派に満開できっと7日の入学式に子供達を祝福してくれたでしょう。

寒の戻りのおかげで今季の長寿な桜にありがとう。

(理事：加納 みどり)

**2025年4月12日(土)****第193回定例ウォーク****府中市の公園めぐりと多磨霊園散策**

ウォーキング当日の天候が一番気になります。天気予報では11(金)夕方雷雨12(土)晴天13(日)一日中雨の予報がピタリと当たり、当日は黄砂の飛来がなく花粉も少なく心地良い気温のそよ風で絶好のウォーキング日和となり、東府中駅北口に会員39人一般2人計41人が集合しました。

新芽が出始めたイチヨウ並木と初夏に実を付けるヤマモモ並木を進み右手にリニューアルオープンした府中の森芸術劇場を見て「都立府中の森公園」に入りました。

トイレ休憩して一本木通り新小金街道から「浅間山公園」へ。新緑の緩やかな山を登ると道端で私の大好きなスマイルを見つけました。コンクリートの割れ目や歩道脇に紫色で愛らしく咲く花言葉は「小さな幸せ」です。

浅間神社では武蔵府中郷土かるた「もえる若葉の浅間山」と有り、「関東の富士見百景」でビルの谷間から遠くに富士山が見える眺望地へ。今日は花曇りで残念ながら見えませんでした。小ぶりの黄色の百合の様な花が咲く都内唯一のムサシノキスゲの自生地なので、見頃の4月下旬から5月中旬に散策したくなりました。

キスゲ橋を渡り都立多磨霊園に入りトイレ休憩して著名人の墓を見学、八重桜と枝垂れ桜や赤いツツジ



が青空に映えていたが、常緑樹のアカマツが枯れ木になっていたのが気になりました。

東八道路に入り椿が綺麗な「都立武蔵野公園」で早めの昼食休憩をとり、二枚橋を渡って綺麗な野川のせせらぎと共にウォーク、老若男女とペットとファミリーのピクニックで賑わっていました。

東八道路を渡り「都立野川公園」でトイレ休憩して人見街道を渡り近藤勇生誕跡を見学して「都立武蔵野の森公園」に到着、高台から調布飛行場を眺めてゴールの西武多摩駅に向かいました。

久しぶりの10Kコース、安全第一でゆったり歩行と休憩を多くして武蔵野の自然公園巡りを無事完歩出来ました。

(理事：加納 みどり)

**2025年4月26日(土)****第65回カルチャーウォーク****上野公園散策と国立科学博物館見学**

今年度最初のカルチャーウォークは上野公園に設置されている国立科学博物館を訪ね、上野公園不忍池、弁天島をめぐる行程でした。

科学博物館は収蔵品およそ500万点、その貴重な収蔵品を守るため相当の費用が掛かります。残念ながら資金不足となり、昨年クラウドファンディングを行ったところ9億2千万円余りが集まりました。日本もまだ捨てたものではないと感じました。

当日の陽気は春本番、上野駅公園口に会員46名、一般7名合わせて53人の参加があり、皆さんの知識欲を感じる会でした。

午前9時に集合し直ちに科学博物館に向け出発しました。博物館は300mほどで到着。なんと65歳以上は入館料無料とあって驚くべきは全員無料扱いと、いかに高齢者団体であるかを証明してしまいました。

建物は国指定の重要建築物で、外観も内装も大変素晴らしいもので、建築だけ見ても大変興味のある建築物でありました。

入館するとすぐ目に入る「フーコーの振り子」。この振り子は釣り糸19.5m、錘49kgと大掛かりなもので錘はステンレスで吊っており、地球の自転を証明するものとして知られています。

館内は自由見学にして各自興味のある展示物を見てもらいました。私は館とつくものは全く不得手で博物館、美術館、図書館、映画館等すぐに出てしまうのですが、見学予定の2時間も見てしまいました。

科学博物館をあとにし、西郷隆盛像を見学。続いて不忍池弁天島をお参りました。弁天島を訪れる機会はなかなかなく、初めての方もいらしたと思われます。

池の外周を回ると改めてインバウンドのすごさを実感。野外音楽堂を超え下町資料館前で解散となりました。

(理事長：近藤 和義)

国立科学博物館のモニュメント

(地球上に生息する最大の動物 体長30m 体重150tのシロナガスクジラ)





## 2025年5月8日(木)

### 第66回カルチャーウォーク

#### 富士芝桜まつり(バスウォーク)

5月連休明けの8日(木)、新宿センタービル前に7時45分に集合し太陽観光の貸切りバスで49名の会員が芝桜見学に向かいました。朝早い出発だったにもかかわらず、集合時間前に全員集合。道路も渋滞なく順調で予定より30分早く新宿に帰り着きました。

むさしの歩こう会の日帰りバスツアーは、ネモフィラ・大藤に続き今回の芝桜見学が3回目でした。

団体入口から入るとすぐに鮮やかな一面濃いピンク色の芝桜が広がり、思わず息をのむ絶景にあちらこちらから歓声があがっていました。そのピンクの芝桜の中には白い芝桜が大きなハート型に植えられ、眩しいくらいで、フォ



トスポットの「ピンクの海を旅する小舟」には、小舟に乗って写真を撮りたい人たちの行列ができていました。

この日は風もなく青空なのに、富士山の中腹から頂上にかけては雲がかかり、雲が少し動くと頂きが見えるという状況で、雄大な富士山全景は見えませんでした。裾野の広がり美しく、守護神のコノハナサクヤヒメが雲の後ろでそっと私たちを見守ってくれていると信じて、7種類50万株の芝桜の絶景を楽しませて頂きました。

1時間40分程自由に散策してから昼食会場に向かいましたが、反対車線は猛渋滞なのに私達の進む方向はスムーズだったので、やはり早い集合時間がよかったのだと実感しました。

昼食会場の桔梗屋河口湖フラワーガーデンでは約10名位のテーブルに分かれてのバイキングでした。ご当地グルメのほうとうやちらし寿司、地元の野菜を中心にしたサラダバー、ペペロンチーノ・信玄鳥の照り焼きステーキ、オムライス等々とっても種類が多く美味しいバイキングでした。

今回、先着40名の募集に対し50名のお申し込みがあり心配しましたが、何とか全員をお連れしたいという理事長の計らいで、補助席も使い、申し込まれた方々全員に参加して頂きました。

満席バスで窮屈な思いをなさるのがわかっていましたので、信玄餅5個入りのお土産をお配りすることになり、皆さんに喜んで頂き嬉しかったです。バスの中では、当日お誕生日のお二人に細やかなプレゼントもあり、楽しいバスハイクでした。皆様のご協力のお陰で、無事にバスハイクが終了し感謝です。

(理事：橋本 彩子)

## 2025年5月15日(木)

### 第1回シリーズウォーク

#### 山下公園のバラ鑑賞と中華街(横浜の潮風を受けて)

こんにちは。

皆様には先週(5/8)富士山麓本栖湖リゾートに芝桜を見学に行って、二週続けてのウォーキング、お疲れ様でした。

5/15(木)、42名で、晴れ時々曇りの空模様で前回の様な土砂降りの雨も無く少し汗ばむ位のウォークでした。距離的には短めで一万歩前後ではなかったでしょうか？

桜木町北口東広場からウォークは始まり、三菱みなとみらい技術館では無知な自分を感じながら少し知識が広がった様に思います。しんかいについては上野の国立科学博物館でも見学しました。これも三菱重工さんが手掛けているものなのですね！又、パネルタッチのクエスチョンを実際に行ってみると結構楽しめました。好奇心旺盛な子供だったら結構喜びますね！

三菱みなとみらい技術館を出てけやき通りを初夏の風を受けながら、木陰でのウォーキングはとても気持ち良いものでした。そして臨港パークへ。ここからは海沿いに赤レンガ倉庫へと続くウォーキングでした。時折海風を受けていたので暑さも凌げました。

ここから右手に見えるのがクイーンの塔(横浜税関)、ジャックの塔(開港記念会館)、キングの塔(神奈川県庁)と、どなたかからの説明を受けながら、それってなんでその様に呼ばれるのだろうと思い調べてみると、次の様な記述がありました。

関内・日本大通り地区の塔のある建物はトランプになぞらえ、神奈川県庁本庁舎“キング”、横浜税関“クイーン”、横浜市開港記念会館“ジャック”の「横浜三塔」と言われ、古くから愛されている。3塔を一度に見られるスポットを巡ると願いが叶う「横浜三塔物語」は浜っ子には有名な伝説だ。この3塔はいずれも先の第二次世界大戦をくぐり抜けて現存しており、いつしか船員たちが航海の安全を祈りこれを目印に入港したと言われており、「赤レンガパーク」「日本大通り」「大さん橋」

の該当箇所3箇所をめぐることで、様々な角度から横浜3塔を楽しめる。その存在感に願い事を託す人々が、今日も横浜をめぐることだろう。

そして山下公園へ到着です。多種多彩なバラが所狭しと咲き乱れており圧巻でした。

この後は楽しみにしていた中華街へと歩を進め王府井レストランで小籠包等を頂き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

皆様は如何でしたでしょうか？

もう一度思いを馳せてみては！



(会員：田中 裕子)

山下公園 未来のバラ園で記念撮影



## 2025年6月7日(土) 第194回定例ウォーク 荒幡富士から八国山緑地・北山公園の菖蒲

六月に入り天気予報にて梅雨入り情報が流れ、ウォーク当日の天気を心配していたが、連日夏日が続き、6月7日土曜日にも好天となり熱中症が心配された。

集合場所の都立狭山公園多摩湖(村山貯水池)堰堤の東屋に36名が集い、9時45分に最初のスポット“狭山丘陵いきものふれあいの里センター”を目指しスタートした。

すぐそばの西武園ゴルフ場入口脇の林道を進み木立に差しかかると、ウグイスや他の小鳥達が一斉に綺麗な鳴き声で歓迎してくれ、元気をもらいました。

いきものふれあいの里センターでは狭山丘陵の動植物の標本などを見学、トイレ休憩。

近くの荒幡富士(標高119m)では元気な仲間達が登頂。富士山の姿が見えず残念でしたが、冬の天気良い日は筑波山、大山、新宿高層ビル群等360°素晴らしい景観の場所です。

(※八国山緑地の名は「上野・下野・常陸・安房・相模・駿河・信濃・甲斐」の山々が眺望出来たことに由来するそうです)

ドレミの丘公園を通り光蔵寺下で給水タイム。炎天下の坂を登り“トトロの森2号地”から鳩森八幡神社、久米水天宮までのクヌギ林を抜け、又々休みするも暑さでバテ気味な仲間も多く見受けられたため、後半の順路をショートカットの話が出て出発。

松ヶ丘中央公園より先の八国山緑地は、東西約1.5キロのコナラ、クヌギの雑木林で 映画“となりのトトロ”の舞台でもある尾根道を、多少ショートカットしながら東から西に進み西武線線路脇の“ころころ広場”にて12時10分昼食休憩とした。



昼食後線路を渡り、東村山の新東京100景に選ばれている北山公園 菖蒲苑を目指した。ちょうど菖蒲祭りが開催されており大勢の人達が綺麗な花菖蒲を觀賞しに来ていました。

心休まるひと時を過ごし、最後のスポットである鎌倉幕府執権 北条時宗創建と伝わる、東京都唯一の木造建築である臨濟宗 正福寺を目指した。国宝地藏堂は禅宗様建築で、上層屋根の隅反りが特徴の柿葺き屋根が美しい見事な建物を見ることができ感激しました。

見学後、最後の力を振り絞り東村山駅西口に向かい14時ゴールした。暑い中、熱中症の人でもでないで頑張り、皆様お疲れ様でした。

(理事：山本 喬)

## ホームページ情報

[1] 8月度例会案内を6月末に掲載します

[2] 会報第66号を7月初旬に掲載します

[3] ギャラリーを7月初旬に掲載いたします

※例会ウォークの中止・変更等につきましては、インフォメーション欄に逐次掲載してまいります。

## 会員ニュース

2025年6月24日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

国分寺市 349 青木 和代

西東京市 350 瀬尾 和枝

## 2024年度 例会ウォーク表彰

「2024年度例会ウォーク」の表彰対象会員の皆様です。おめでとうございます。

○年間全20回すべて完歩された方は次の2名です  
小松 巧・下之園 久

○高参加率(85%以上)を達成された方は以下の12名です。

秋元 美恵子・芦田 敏武・新井ヨウ子・加納みどり・  
神谷善次・小林 京子・田中 裕子・田村 一枝・  
橋本 彩子・峰田 則子・元木 満生・山本 喬

(アイウエオ順・いずれも敬称略)

以上14名の方に表彰状と記念品が贈呈されます